

令和6年度
みやぎ東日本大震災津波伝承館
運営報告



令和7年12月

宮城県復興・危機管理部
復興支援・伝承課

目次

はじめに	- 1 -
伝承館の1年の動き等	- 1 -
1 来館者の状況	- 3 -
(1) 来館者数の状況.....	- 3 -
(2) 団体予約の状況.....	- 4 -
(3) 来館者アンケートの状況	- 5 -
2 展示運営の状況.....	- 10 -
(1) 常設展示.....	- 10 -
(2) 企画展示.....	- 12 -
3 機能強化事業の状況	- 14 -
4 情報発信（広報宣伝）の状況	- 17 -
5 関係団体との連携の状況	- 19 -
6 その他	- 22 -
(参考1) 機能強化事業の詳細.....	- 24 -
(参考2) みやぎ東日本大震災津波伝承館の概要.....	- 26 -

はじめに

みやぎ東日本大震災津波伝承館（以下「伝承館」という。）は、東日本大震災の記憶と教訓を永く後世に伝え継ぐことを目的とし、令和3年6月6日に開館した。また、伝承館の位置する石巻南浜津波復興祈念公園（以下「公園」という。）は、令和3年3月28日に開園した。

令和6年度は、東日本大震災から13年が過ぎ、震災の風化が懸念される中、「かけがえのない命を守るために、未来へと記憶を届ける場」として、展示解説を通じ、次なる災害への備えを確かなものにできるよう、全国、世界、そして次世代の人々をつなぎ、発信と交流に努めた。

また、令和3年4月に宮城県が策定した「東日本大震災の記憶・教訓の伝承に関する基本方針」で基本理念としている「東日本大震災の経験や復旧・復興の過程、そこからの教訓を現在（いま）、そして未来に伝え続ける」、「一人ひとりがかけがえのない大切な命を守り、災害時に『自らの命を守る行動』が実行できる社会をつくる」に基づき、地元住民、石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会（以下「協議会」という。）、震災伝承みやぎコンソーシアム会員をはじめとする県内伝承団体、企業のほか、国、市町村、観光担当部局等の関係機関と連携し、県内の震災伝承施設等へ誘うゲートウェイ（玄関口）の役割を担っていくことを見据え、企画展示や誘客行事、情報発信等を行った。

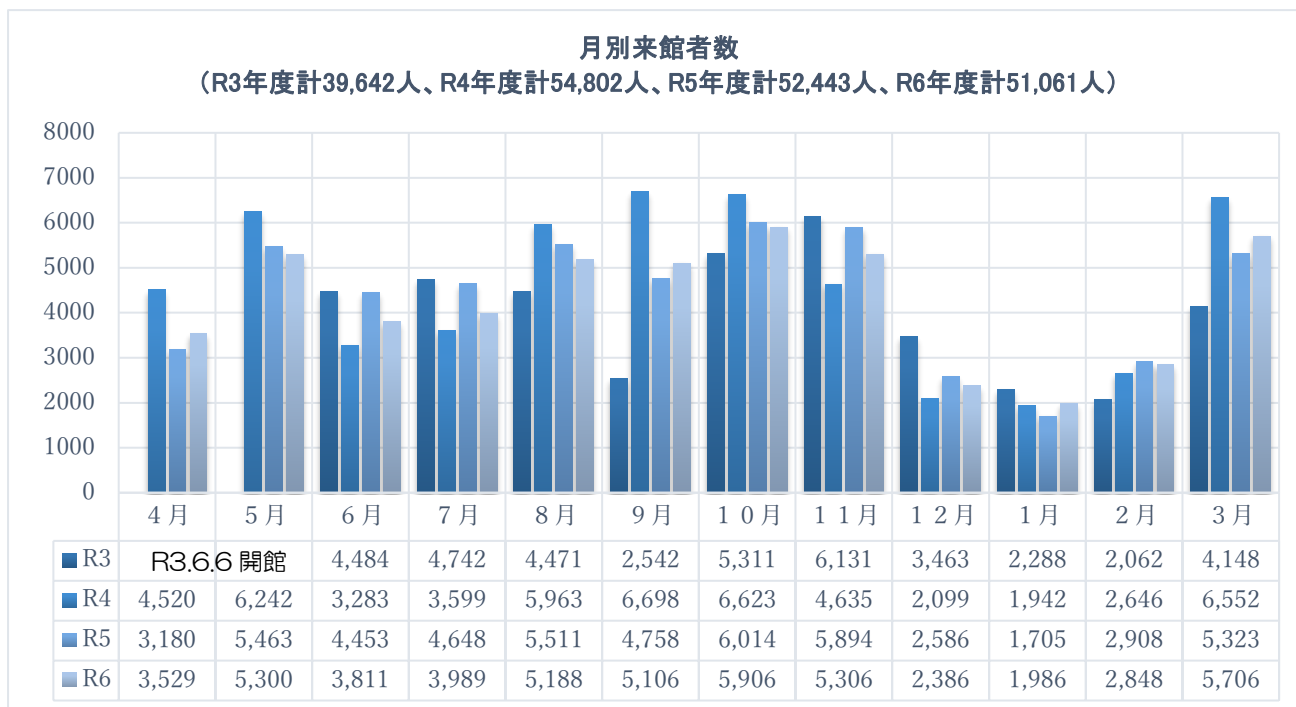
伝承館の1年の動き等

令和6年度	伝承館の主な動き	(参考) 県内の主な震災伝承施設の動き等
4月		
5月		6日 「南三陸311メモリアル」 来館者20万人達成 12日 いしのまき防災・伝承コミュニティキックオフ会議
6月	6日 開館3周年 6日～30日 企画展「東日本大震災とボランティア あの日から続く 支えあい ありがとう」	
7月		26日 「気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館」来館者30万人達成
8月	10日 ボランティア解説員認定式 12日 臨時休館（台風5号接近のため）	9日 「石巻市震災遺構門脇小学校」 来館者10万人達成
9月		
10月	26日 ボランティア解説員認定式 29日～12月15日 企画展「『津波とTSUNAMI』11月5日はどうして“世界”津波の日？」	

11月	24日 「ぼうさいキッズパーク」の開催	
12月	17日～1月13日 第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール作品展示 22日 第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール授賞式	
1月	11日 みやぎ中学生・高校生震災伝承プロジェクト	
2月	2日 ボランティア解説員認定式 9日 大阪・関西万博復興庁展示100日前イベント	
3月	11日 「みやぎ鎮魂の日」	8日 仙台防災未来フォーラム2025開催（仙台市） 11日 「みやぎ鎮魂の日」

1 来館者の状況

(1) 来館者数の状況



令和6年度月別来館者数と平均来館者数(単位:人、日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	累計
来館者数(A)	3,529	5,300	3,811	3,989	5,188	5,106	5,906	5,306	2,386	1,986	2,848	5,706	51,061	197,948
開館日数(B)	26	27	26	26	26	25	27	28	24	23	24	26	308	1,148
平均来館者数(A/B)	136	196	147	153	200	204	219	190	99	86	119	219	166	172

※1 令和3年6月6日に開館。

※2 日別最多入館者数：904人（3月11日）

令和6年度平日、土日祝日別来館者数(単位:人、日) ※()は令和5年度

	平日		土日・祝日		計	
来館者数(A)	26,598	(28,058)	24,463	(24,385)	51,061	(52,443)
開館日数(B)	194	(195)	114	(117)	308	(312)
平均来館者数(A/B)	137	(144)	215	(208)	166	(168)

5月は、大型連休により来館者が増加したが、6月以降減少に転じた。8月以降は修学旅行等の団体利用の増加により来館者も増加した。12月から2月にかけて、来館者が減少したが、3月は「みやぎ鎮魂の日」に向けて再び増加した。

また、平日・土日祝日別の平均来館者数をみると、平日が137人、土日祝日が215人となっており土日祝日の平均来館者数が約1.6倍となっている。

(2) 団体予約の状況

令和6年度区分別団体予約件数(単位:件、人)

		予約件数			人数		
		県内	県外	計	県内	県外	計
学校	小学校	14	9	23	510	341	851
	中学校	6	8	14	437	300	737
	高等学校	12	19	31	357	622	979
	特別支援学校	1	0	1	26	0	26
	大学	11	16	27	204	153	357
	専門学校・その他	0	5	5	0	169	169
	計	44	57	101	1,534	1,585	3,119
学校以外	企業・業界団体等	39	101	140	632	1,722	2,354
	公共的団体等	39	66	105	878	1,141	2,019
	国(省庁、議員)	18	7	25	344	129	473
	地方自治体	4	8	12	78	154	232
	議会(県外)	-	14	14	-	129	129
	宮城県(職員、県議会)	9	-	9	96	-	96
	地域の団体	17	46	63	288	817	1,105
	個人のグループ	5	31	36	34	212	246
	その他	4	30	34	74	482	556
	計	135	303	438	2,424	4,786	7,210
合計		179	360	539	3,958	6,371	10,329

学校では、県外の高等学校（19件）の利用が最も多い。県内は小学校（14件）と高等学校（12件）の利用が多い。

学校以外では、県内・県外とも、企業・業界団体等（140件）の職域での利用が最も多く、自治会や民生児童委員協議会などの公共的団体等（105件）、地域の団体（63件）が続く。

令和6年度都道府県別団体予約件数(単位:件、人)

	件数	人数		件数	人数		件数	人数	
北海道	12	217	石川県	2	43	岡山県	2	29	
青森県	4	74	福井県	3	43	広島県	8	133	
岩手県	11	258	山梨県	-	-	山口県	2	18	
宮城県	179	3,958	長野県	7	155	徳島県	2	13	
秋田県	9	281	岐阜県	3	122	香川県	1	5	
山形県	30	513	静岡県	11	187	愛媛県	1	10	
福島県	21	454	愛知県	11	161	高知県	1	7	
茨城県	12	164	三重県	2	28	福岡県	6	149	
栃木県	6	113	滋賀県	2	32	佐賀県	3	23	
群馬県	2	36	京都府	2	28	長崎県	2	40	
埼玉県	9	148	大阪府	13	269	熊本県	1	10	
千葉県	16	299	兵庫県	4	91	大分県	-	-	
東京都	68	1,079	奈良県	7	117	宮崎県	1	19	
神奈川県	19	247	和歌山県	4	59	鹿児島県	1	3	
新潟県	13	312	鳥取県	2	13	沖縄県	5	85	
富山県	1	10	島根県	-	-	その他	18	274	
							合計	539	10,329

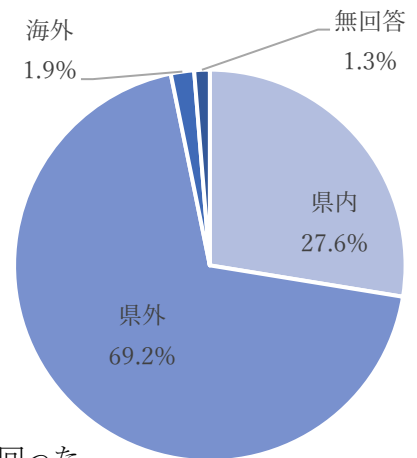
都道府県別にみると、宮城県（179件）が最も多く、東京都（68件）、山形県（30件）が続く。

(3) 来館者アンケートの状況

館内において来館者に対するアンケート調査を実施。156件の回答があった。(回収率0.3%)

① 回答者の居住地(単位:件、%)

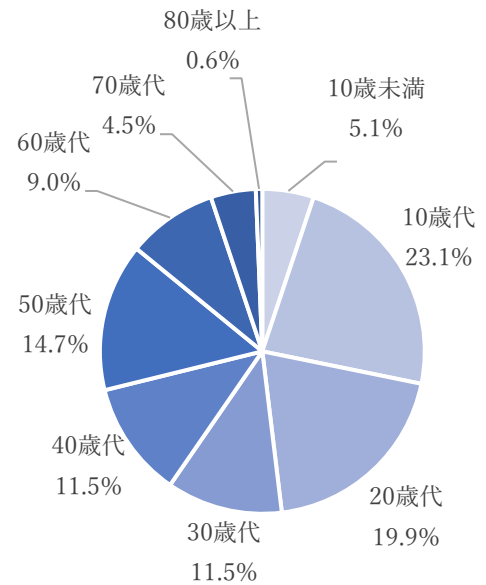
	回答数	割合
県内	43	27.6%
県外	108	69.2%
海外	3	1.9%
無回答	2	1.3%
合計	156	-



回答者の居住地を見ると、県外が約69.2%となっており、県内を上回った。

② 回答者の年齢(単位:件、%)

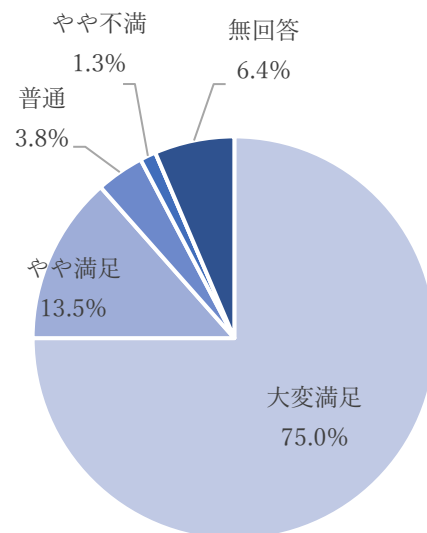
	回答数	割合
10歳未満	8	5.1%
10歳代	36	23.1%
20歳代	31	19.9%
30歳代	18	11.5%
40歳代	18	11.5%
50歳代	23	14.7%
60歳代	14	9.0%
70歳代	7	4.5%
80歳以上	1	0.6%
無回答	0	0%
合計	156	-



回答者の年齢を見ると、10歳代が最も多く、次いで20歳代である。40歳代以下が全体の7割以上を占めている。

③ 施設満足度(単位:件、%)

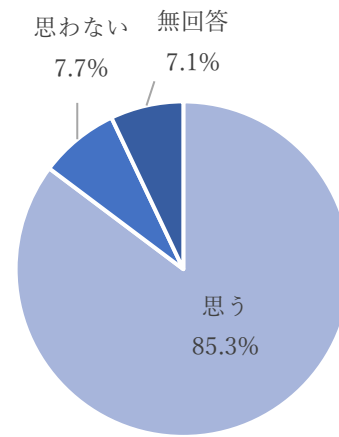
	回答数	割合
大変満足	117	75.0%
やや満足	21	13.5%
普通	6	3.8%
やや不満	2	1.3%
不満	0	0%
無回答	10	6.4%
合計	147	-



施設全体の満足度については、「大変満足」との回答が7割以上を占めており、「やや満足」との回答を含めると8割以上の方から「満足」との回答があった。

④ 当館を見学して、他の震災伝承施設等へ行ってみたいと思ったか。(単位:件、%)

	回答数	割合
思う	133	85.3%
思わない	12	7.7%
無回答	11	7.1%
合計	156	-



8割以上の方から他の震災伝承施設等へ行ってみたいと「思う」との回答があった。

⑤ 展示について(よかった展示・よくなかった展示)(単位:件)※重複回答あり

	よかった	よくなかった
つなぐ記憶	68	1
東日本大震災を知る	76	2
シアター「くり返さないために」	106	4
津波から命を守る	69	2
ともにつくる復興	34	2
「語り部」からのメッセージ	56	6
一人ひとりの記憶	47	3
合計	456	20

よかった展示(抜粋)

- ・私は生まれてなかったけど、当時のことがちゃんと伝わってきた。また被害にあった人たちの心情を入れているのが良いと思いました。
- ・東日本のような大震災が来た場合の対応を見直したいと思えた。
- ・災害にあったとき、とにかく逃げることの大切さを再確認できた。
- ・全て大切な記憶だと思います。後世の方に伝えていきたいものだと思います。
- ・インターネットでは得ることができない情報が分かりやすく解説されていた。この建物にもしっかりと意義があると感じた。
- ・It was great to learn more about the earthquake and tsunami , and I`m grateful to learn (地震・津波について、より深く学びに来た。非常に良い教訓を得た。)
- ・建物の高さが津波と同じだったり、とにかく記憶を残すということへの思いを感じた。

よくなかった展示(抜粋)

- ・門脇小や他の所と内容が被ってしまうので、どうしても見飽きてしまう。
- ・映像が見つらなかった。
- ・整備局等の活躍もすごいと思うが、人々の生活がどうだったかも、一市民として知れると良いと思った。
- ・10歳の子どもでもわかるようにして頂きたいです。
- ・実際に(伝承施設全てを)回るとすると大変だな、と感じさせてしまう。VR等で疑似的な訪問体験ができると良かった。
- ・良くなかったわけではではないが、あまりにも辛くて見れなかった。

展示内容についての設問では肯定的な回答が多く、津波の怖さや逃げることの重要性など、当館が伝えたいメッセージがしっかり伝わったという感想も見られた。また、今後の備えについて改めて考えたいという回答もあった。

一方、映像の見づらさなど、視認性の改善を求める回答もあった。

⑥ その他、自由記述欄にいただいたご意見(抜粋)

(開館日・開館時間について)

- ・他の施設もですが、外を回って見た後だと大体閉館している。
- ・閉館時間を少し遅らせてほしい。
- ・17時まで開館しているのがありがたかったです。

(施設について)

- ・清潔感があって、心地よい。
- ・隅々まで丁寧に清潔に管理されている。

(職員・スタッフについて)

- ・職務に責任を感じて行動・応答されていると感じます。

- ・手話少し出来るスタッフがいたから安心できます
- ・「荷物を預かりますか？」とスタッフの方から聞いていただき、すごく助かりました。
- ・しっかりと小さい子にもわかりやすく説明して下さったので良かったです。

(その他)

- ・伝承することは大切なことです。同じ日本に住む者として、この思いを共有し、伝承していくことが、改めて 大切であると認識しました。
- ・当時、東京におりましたが、記憶がよみがえり、今度災害があった際の行動について考えるきっかけとなった
- ・インフラが整っていない。バスの運行頻度が少ない。
- ・駐車場の案内がわかりにくかった。館の乗車口や敷地に入る所などに駐車場のマークを置いて位置が分かるようにした方が良い。
- ・以前この地を訪れた時に3歳だった息子は10歳になり、この伝承館でも色々な事を理解できるようになって
- ・丘の上の震災前の写真のパネルで、現在との比較ができてとてもよかった。
- ・2011年にいかにこの地域の人々が大変な思いをされたのか。
シンプルで美しく、平和そのものの公園や伝承館とのギャップに言葉を失った。
- ・自分は東京から電車を使ってきた。車は運転できないのでバスが必要だが、石巻駅までの最終バスが閉館より前だった。自分はまだ20歳なので歩けるが17:00過ぎにもバスがあればさらにアクセスがよくなると思った。
- ・公園が広くてきれいだった
- ・無料で申し訳ない位のいい所でした。
- ・とてもキレイにされて良いと思うし、子供が遊べるところもありいいと思いました。

2 展示運営の状況

(1) 常設展示

震災伝承に関する展示を通じ、国内外から来館する多くの方々に対し、県内の被災の大きさや復興の状況、語り部や民間団体等の想いを通し津波から命を守るための行動の重要性等を伝える。

そのために、解説員を常時4人配置し、希望する来館者に対し随時展示解説を行ったほか、予約した団体の方に、シアターの席の確保や展示解説を行った。




※ 国土交通省東北地方整備局が整備した展示についても、宮城県で解説した。

●展示コンセプト



「かけがえのない命を守るために、未来へと記憶を届ける場」

▲展示内容・特徴

リアルな津波の映像や被災者の証言等により、津波から命を守るためには「逃げるしかない」ことを訴える映像をはじめ、県内の震災伝承施設や語り部活動を行う団体等のほか、震災を契機に生まれた地域の復興に関する取組等を紹介するなど、被災の状況や津波から尊い命を守るための教訓等をパネルや映像を用いて伝える（映像出演者：79団体90人）。

展示構成	展示内容・目的	写真
<p>コンセプトパネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル1枚 ・衣服1式 	<p>東日本大震災による津波に巻き込まれながらも一命を取り留めた、当時石巻市南浜地区にて被災した方が、当時身につけていた衣類及び当時撮影した写真をパネル化し、展示している。</p>	
<p>① つなぐ記憶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本編「つなぐ記憶」（約7分） ・待機映像「記憶のまち」（約5分） 	<p>在りし日の情景を映像で映し出し、記憶を誘うシアター。</p>	
<p>② 東日本大震災を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「被害」、「津波」、「地震」の3つのパネルで構成 	<p>観測史上最大級の地震・津波による甚大な被害とその全体像を伝える。</p>	

<p>③ シアター 「くり返さないために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本編「くり返さないために」 (約 11 分) ・収容可能人数：約 40 人 	<p>ドキュメンタリータッチの演出により、津波から命を守るには“逃げる”しかないことを徹底して訴える。</p>	
<p>④ 津波から命を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁面パネル ・窓側パネル ・証言モニター 	<p>“津波から命を守る”ための意識を植え付け、将来の危機に備える行動を強く促す。</p>	
<p>⑤ ともにつくる復興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22 の団体をマグネットパネルと 55 インチモニターにて紹介 	<p>県内各地の団体や企業、様々な人のまちを元気にする取り組みや場所を映像で紹介し、今の「みやぎ」を発信する。</p>	
<p>⑥ 「語り部」からのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18 の語り部団体・個人をモニター5 台にて紹介 	<p>県内各地の語り部団体の活動の様子を紹介し、震災遺構や伝承施設など、現地へ訪れてもらうきっかけを提示する。</p>	
<p>⑦ 一人ひとりの記憶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生業」、「共助」、「日常」、「救助」の4テーマで計 39 人（団体）をモニター4 台にて紹介 	<p>被災された方の震災当時から現在に至るまでの証言映像を通じ、様々な角度から震災を考えるきっかけを提示する。</p>	

<p>♣ 東日本大震災・緊急対応の記録</p> <p>【制作：国土交通省 東北地方整備局】</p>	<p>発災以降の緊急対応の記録と被災物を通じて津波の脅威を伝え、頻発する自然災害への備えについて考えるきっかけを提示する。</p>	
<p>♥ 3.11 伝承ロード</p> <p>【制作：国土交通省 東北地方整備局】</p>	<p>東日本大震災の実情と教訓を学ぶことができる「震災伝承施設」を紹介する。</p>	

(2) 企画展示

伝承館内の多目的スペース「思い致す場」等において、歴史的な災害の紹介や、他の伝承施設と連携した期間限定の企画展示を2回実施した。

企画展「東日本大震災とボランティア あの日から続く 支え合い にありがとう」

日時：令和6年6月6日（木）～令和6年6月30日（日）

内容：災害時にボランティアが果たす役割や全国からの支援への感謝について改めて考える場を提供するため、写真、動画、震災当時の活動記録再現ホワイトボードなどで紹介したもの。



企画展『津波と TSUNAMI』 11月5日はどうして“世界”津波の日？』

日時：令和6年10月29日（火）～ 令和6年12月15日（日）

内容：11月5日が「世界津波の日」として制定されるきっかけとなった安政南海地震での「稲むらの火」の逸話や制定の経緯、世界で発生した津波被害等をパネル、動画、紙芝居で紹介したものを。



3 機能強化事業の状況

伝承館の機能強化を目的とした東北大学災害科学国際研究所との共同研究により、思い致す場を活用した語り部講話及び講演会に加え、家族向けの防災啓発イベント、ポスターコンクール等を開催した。

※各回の実施内容等の詳細は、別紙（参考1）のとおり

(1) 3.11 みやぎ語り部講話

日時：令和6年4月13日（土）～令和7年3月29日（土）

※原則毎週土曜日 11:00～12:00、13:30～14:30 に開催

内容：語り部を招き、東日本大震災の被災や復興に関する体験等についての講話会を計98回開催。

話し手：25名（うち、初めて語り部の形式で講話した方：6名）

延べ参加人数：1,406名



(2) 3.11 学びなおし塾

日時：令和6年4月28日（日）～令和7年2月2日（日）

※偶数月第一日曜日 11:00～12:00 に開催

内容：大学の研究者を招き、東日本大震災について「これまで分かっていること」「新たに分かったこと」を最新の研究から学ぶための講演会を計6回開催。

延べ参加人数：86名



(3) 知りたいみやぎ復興の知恵

日 時：令和6年5月5日（日）～令和7年3月2日（日）

※奇数月第一日曜日 11:00～12:00 に開催

内 容：復興に向けた歩みのなかで、最前線で活躍されている方を招き、東日本大震災における新たな「学び」「気づき」を参加者と共有するための講演会を計6回開催。

延べ参加人数：56名

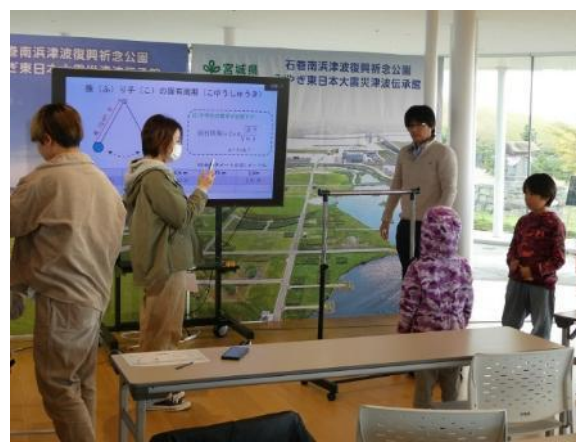


(4) ぼうさいキッズパーク

日 時：令和6年11月24日(日)11:00～12:00、13:00～14:00

内 容：家庭での「防災のきっかけづくり」のために、子供も大人も楽しみながら学べるプログラムを開催。

延べ参加人数：50名（うち、午前31名、午後19名）



(5) 第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール

募 集：令和6年6月24日（月）～令和6年9月13日（金）

表彰式：令和6年12月22日（日）

内 容：小学生・中学生・高校生・高等専門学校生を対象として、「災害伝承」をテーマとしたポスターコンクールを開催。

応募数：123点



(6) ボランティア解説員の募集

内 容：次世代の震災伝承の担い手の育成を図るため、小学生、中学生、高校生、大学生、専門学生等を対象として、伝承館のボランティア解説員を募集し、認定したもの。

認定者：小学生2名、中学生1名、高校生1名、大学生1名

認定式：令和6年8月10日（土）、令和6年10月26日（土）、令和7年2月2日（日）

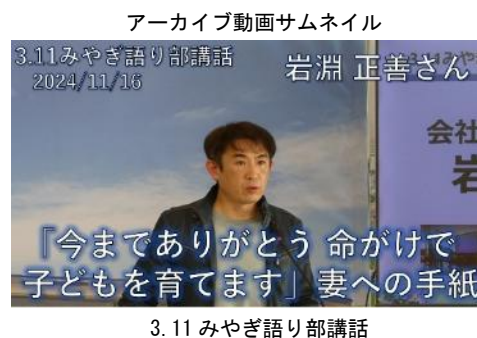


(7) 伝承館イベントのYouTube 配信とアーカイブ化

内 容：伝承館でのイベント開催時に YouTube 配信を行い、配信内容をアーカイブ化するようシステム構築したもの。

掲載コンテンツ数：56

最大再生回数：380回（3.11みやぎ語り部講話）



4 情報発信（広報宣伝）の状況

(1) パンフレット配布

来館者に日本語のほか、英語、中国語（繁体語、簡体語）、韓国語のパンフレットを配布した。



(2) 報道機関への情報提供によるパブリシティ

県政記者クラブ等への情報提供を通じて、県内向け報道の充実を図った。

(3) ホームページによる情報発信

伝承館の常設展示・企画展示、利用案内のほか、団体予約受付の案内等を掲載した。

(4) 伝承館紹介動画公開

伝承館のPRのため、約4分間の紹介動画を県HPに掲載した。



(5) SNSによる情報発信

X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram ページを開設し、開館情報や館内イベント等について随時発信した。

R7. 3. 31 時点

媒体	投稿数	フォロワー数
X（旧 Twitter）	110	723
Facebook	60	497
Instagram	59	376

(6) グッズ作成

伝承館のPRのため、取手付きクリアファイル11,500部を作成し、来館者に配布した。



5 関係団体との連携の状況

(1) 公園関係者との連携

公園関係の官民で構成される「石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会」の総会、伝承部会をはじめとする各部会に参加し、情報共有、意見交換等を実施した。

(2) 県内伝承団体・伝承施設・市町村等との連携

県内の震災伝承施設等へ誘うゲートウェイ（玄関口）の役割を果たせるよう、県内伝承団体・市町村と情報共有を密にするとともに、提供いただいたチラシ及び冊子について、伝承館に配架し、来館者に提供した。

また、震災伝承ネットワーク協議会の「伝承施設登録」において第3分類に登録されている施設に施設紹介動画の提供を依頼し、協力いただいた施設の動画を伝承館内で随時放映するとともに、令和7年3月8日（土）に開催された仙台防災未来フォーラムの会場内で放映する等、伝承施設のPRを実施した。

(3) 震災伝承ネットワーク協議会・3.11 伝承ロード推進機構との連携

① 震災伝承ネットワーク協議会

東北地方整備局、被災4県及び仙台市で構成する震災伝承ネットワーク協議会において公募・登録を実施している「震災伝承施設」の登録数は次のとおり。

震災伝承施設登録数 (令和7年3月31日現在)

所在市町	施設数 (件数)	分類の内訳			所在市町	施設数 (件数)	分類の内訳		
		第1分類	第2分類	第3分類			第1分類	第2分類	第3分類
仙台市	25	9	11	5	亙理町	4	1	3	
石巻市	43	23	12	8	山元町	5	1	1	3
塩竈市	3	1	1	1	松島町	9	5	3	1
気仙沼市	17	8	4	5	七ヶ浜町	2		2	
名取市	9	2	4	3	大郷町	1	1		
多賀城市	4		4		涌谷町	2	2		
岩沼市	8	4	3	1	美里町	2	2		
登米市	7	7			女川町	4		4	
東松島市	9	7	1	1	南三陸町	6	2	1	3
大崎市	2	2			合計	162	77	54	31

※「震災伝承施設」の登録にあたっては、各施設を①震災伝承、②訪問しやすさ、③理解しやすさの点から、次のとおり3つに分類している。

第1分類：①だけを満たす施設、第2分類：①及び②を満たす施設、第3分類：①②③全てを満たす施設

② 3.11 伝承ロード推進機構

3.11 伝承ロード推進機構の事業と連動し、アドバイザー委員会の出席等を通じ、広域的な震災伝承ネットワークの構築に向けた取組を推進した（ツアーの受け入れ等）。

(4) みやぎ教育旅行等コーディネート支援センターとの連携

伝承館をはじめとする県内伝承施設等を県外の修学旅行等のコースとしていただけるよう、みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター（以下「センター」という。）と随時意見交換を実施したほか、センターが発行する「宮城県教育旅行ガイドブック」冊子及び「みやぎ海への旅案内」サイトに伝承館の情報を掲載した。

(5) 伝承館の多目的スペース「思い致す場」での関係団体の取組

伝承館の多目的スペース「思い致す場」において、下記のとおり様々な団体が企画展や語り部講話等を実施した。

日付	内容	実施団体
令和6年4月13日（土）～ 令和7年3月29日（土）	3.11 みやぎ語り部講話（毎週土曜日開催、全98回）	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和6年4月28日（日）	3.11 学びなおし塾「大災害後のメンタルヘルスー東日本大震災、福島原子力発電所事故からの教訓ー」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和6年5月5日（日）	知りたいみやぎ復興の知恵「防潮堤と市民活動」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和6年5月12日（日）	いしのまき防災・伝承コミュニティキックオフ会議	石巻市
令和6年6月2日（日）	3.11 学びなおし塾「津波被災地における移転事業とその後」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和6年6月6日（木）～ 令和6年6月30日（日）	企画展「東日本大震災とボランティア あの日から続く 支え合い にありがとう」	宮城県
令和6年7月7日（日）	知りたいみやぎ復興の知恵「段ボール？性格診断？あの手この手で下げたい防災のハードル」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和6年8月4日（日）	3.11 学びなおし塾「東日本大震災の犠牲者への対応から学んだこと」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和6年8月10日（土）	ボランティア解説員認定式	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和6年9月1日（日）	知りたいみやぎ復興の知恵「石巻市北上町での地域と住民主体の震災復興」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和6年10月6日（日）	3.11 学びなおし塾「農業・農村振興の現場知を未来に繋ぐー農業・農村復興の現場では何が起きたかー」	宮城県、東北大学災害科学国際研究所
令和6年10月26日（土）	ボランティア解説員認定式	宮城県、東北大学災害科学国際研究所

令和6年10月29日(火)～ 令和6年12月15日(日)	企画展『津波と TSUNAMI』11月5日は どうして“世界”津波の日？	宮城県
令和6年11月3日(日)	知りたいみやぎ復興の知恵「震災復興とツーリ ズム～旅行という伝承につなげる手段」	宮城県、東北大学災 害科学国際研究所
令和6年11月24日(日)	ぼうさいキッズパーク	宮城県、東北大学災 害科学国際研究所
令和6年12月1日(日)	3.11 学びなおし塾「災害前の記憶の伝承ー被 災地各地での“記憶の町”の活動からー」	宮城県、東北大学災 害科学国際研究所
令和6年12月17日(火) ～令和7年1月13日(水)	第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール作 品展示及び授賞式(授賞式は12月22日(日))	宮城県
令和7年1月5日(日)	知りたいみやぎ復興の知恵「歩く旅が支える地 域の復興／みちのく潮風トレイル」	宮城県、東北大学災 害科学国際研究所
令和7年1月11日(土)	みやぎ中学生・高校生震災伝承プロジェクト (中高生による震災伝承研修会)	みやぎ中学生・高校 生震災伝承プロジェ クト 実行委員会
令和7年1月19日(日) ～令和7年3月23日(日)	ど根性ひまわり笑顔の写真展	がんばろう！石巻の 会
令和7年2月2日(日)	3.11 学びなおし塾「震災伝承の最新動向・最新 研究」	宮城県、東北大学災 害科学国際研究所
令和7年2月2日(日)	ボランティア解説員認定式	宮城県、東北大学災 害科学国際研究所
令和7年2月9日(日)	大阪・関西万博復興庁展示100日前イベント	復興庁
令和7年3月2日(日)	知りたいみやぎ復興の知恵「「生き抜く力」被 災者だからできたことー被災者を被害者にし ないコミュニティー」	宮城県、東北大学災 害科学国際研究所
令和7年3月25日(火) ～令和7年4月13日(日)	第3回みやぎ災害伝承ポスターコンクール作 品展示	宮城県

6 その他

(1) 避難訓練の実施

令和6年6月10日(月)に公園管理者と合同で避難訓練を実施し、避難場所及び避難誘導方法等を確認した。また、令和6年11月2日(土)に石巻市総合防災訓練にあわせシェイクアウト訓練を実施した。

さらに、令和7年2月11日(日)には、(公社)3.11メモリアルネットワークと近隣町内会との合同避難訓練に参加した。

(2) 3月11日(みやぎ鎮魂の日)の取組

宮城県では、東日本大震災が発災した3月11日を「みやぎ鎮魂の日」と定めているが、発災から14年目となる令和7年3月11日(火)に、来館者用の献花を用意するとともに、知事ビデオメッセージを放映し、来館者が黙とういただける場を設営した。



(3) 解説員研修

解説員の展示解説能力の向上を図るため、他の震災伝承施設の視察や、全国の災害に関する視察や講師を招いての講義等を随時実施した。

(4) 展示施設の維持管理

動作確認等の日常点検及び年2回の保守点検を実施した。

(5) 震災遺構VRの導入

「一人ひとりの記憶」コーナーへVRヘッドセットを2台導入し、展示内容の充実を図った。



(6) NHK 東日本大震災「未来への証言」コーナーの設置

日本放送協会仙台放送局の協力により、「東日本大震災「未来への証言」」に出演された方のインタビュー音声を聴講できるコーナーを設置した。



(7) みやぎ中学生・高校生震災伝承プロジェクト（中高生による震災伝承研修会）の実施

東北大学災害科学国際研究所の後援を受け、宮城県内の中学生・高校生が主体となって「これからの震災伝承のあり方について」考える機会を作り、震災の記憶と教訓を伝え継ぐための研修会を実施した（全3回、うち1回を伝承館において令和7年1月11日（土）に実施）。



(参考1) 機能強化事業の詳細

※講話者等の所属・肩書は開催当時のもの

(1) 県内語り部講話

年	月日	話し手	午前	午後	新規	被災地域	コーディネーター
令和6年	4月13日	かだっぺ七ヶ浜 星真由美さん	○	○		七ヶ浜町	ラジオ石巻 青木絵美
	4月20日	絆の駅石巻ニューゼ 平井美智子さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	4月27日	関上中学校遺族会 佐々木清和さん	○	○		名取市	ラジオ石巻 青木絵美
	5月4日	会社員 須藤扶美子さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	5月11日	阿部佳那子さん	○	○		女川町	がんばろう！石巻の会 黒澤健一
	5月18日	一般社団法人ボランティアステーションin気仙沼 菊田忠衛さん	○	○		気仙沼市	ラジオ石巻 青木絵美
	5月25日	羽陽学園短期大学幼児教育科 准教授 荒明聖さん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	6月1日	一般社団法人健太いのちの教室 田村孝行さん	○	○		女川町	ラジオ石巻 青木絵美
	6月8日	チームわたほい 遠藤伸一さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	6月15日	絆の駅石巻ニューゼ 平井美智子さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	6月22日	石巻市PTA協議会 田村百合子さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	6月29日	関上中学校遺族会 佐々木清和さん	○	○		名取市	ラジオ石巻 青木絵美
	7月6日	大川伝承の会 三條すみゑさん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	7月13日	会社員 須藤扶美子さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	7月20日	みやぎ東日本大震災津波伝承館 草島真人さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	7月27日	一般社団法人気仙沼観光協会 吉田昌愛さん	○	○	※	気仙沼市	ラジオ石巻 青木絵美
	8月3日	一般社団法人健太いのちの教室 田村孝行さん	○	○		女川町	ラジオ石巻 青木絵美
	8月10日	羽陽学園短期大学幼児教育科 准教授 荒明聖さん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	8月17日	チームわたほい 遠藤伸一さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	8月24日	一般社団法人ACT(アクト)石巻 理事 松浦敏枝さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	8月31日	地元被災企業 廣中孝彦さん	○	○	※	石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	9月7日	名古屋大学4年生 岩倉侑さん	○	○	※	石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	9月14日	一般社団法人ボランティアステーションin気仙沼 菊田忠衛さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	9月21日	羽陽学園短期大学幼児教育科 准教授 荒明聖さん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	9月28日	石巻市PTA協議会 田村百合子さん	○	-		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	10月5日	一般社団法人南三陸ひとtomoni 代表理事 伊藤俊さん	○	○	※	南三陸町	ヴォイスアーティスト 伊藤富士子
	10月12日	かだっぺ七ヶ浜 星真由美さん	○	○		七ヶ浜町	がんばろう！石巻の会 黒澤健一
	10月19日	みやぎ東日本大震災津波伝承館 三浦浩さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	10月26日	会社員 須藤扶美子さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	11月2日	阿部佳那子さん	○	○		女川町	ラジオ石巻 青木絵美
	11月9日	Tell~子どもの目線から伝える被災地~ 武山ひかるさん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	11月16日	会社員 岩淵正善さん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	11月23日	やまと語り部の会 井上剛さん	○			山元町	ラジオ石巻 青木絵美
11月23日	大川伝承の会 三條すみゑさん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美	
11月30日	関上中学校遺族会 佐々木清和さん	○	○		名取市	ラジオ石巻 青木絵美	
12月7日	会社員 岩淵正善さん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美	
12月14日	元門脇3丁目住民 石川芳恵さん	○	○	※	石巻市	ラジオ石巻 青木絵美	
12月21日	一般社団法人南三陸ひとtomoni 代表理事 伊藤俊さん	○	○		南三陸町	ラジオ石巻 青木絵美	
12月28日	みやぎ東日本大震災津波伝承館 草島真人さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美	
令和7年	1月11日	会社員 須藤扶美子さん	○	-		石巻市	がんばろう！石巻の会 黒澤健一
	1月18日	石巻市PTA協議会 田村百合子さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	1月25日	一般社団法人ボランティアステーションin気仙沼 菊田忠衛さん	○	○		気仙沼市	ラジオ石巻 青木絵美
	2月1日	みやぎ東日本大震災津波伝承館 三浦浩さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	2月8日	がんばろう！石巻の会 黒澤健一さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	2月15日	かだっぺ七ヶ浜 星真由美さん	○	○		七ヶ浜町	ラジオ石巻 青木絵美
	2月22日	東北工業大学3年 武山拓陸さん	○	○	※	石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	3月1日	SAY'S東松島 山縣嘉恵さん	○	○		東松島市	ラジオ石巻 青木絵美
	3月8日	名古屋大学4年生 岩倉侑さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	3月15日	一般社団法人健太いのちの教室 田村孝行さん	○	○		女川町	ラジオ石巻 青木絵美
	3月22日	会社員 須藤扶美子さん	○	○		石巻市	ラジオ石巻 青木絵美
	3月29日	がんばろう！石巻の会 黒澤健一さん	○	○		石巻市	ヴォイスアーティスト 伊藤富士子

(2) 3.11 学びなおし塾

年	日付	講演者	講演題目
令和6年	4月28日	東北大学災害科学国際研究所 准教授 國井泰人氏	大災害後のメンタルヘルス—東日本大震災、福島原子力発電所事故からの教訓—
	6月2日	東北大学大学院工学研究科 助教 荒木笙子氏	津波被災地における移転事業とその後
	8月4日	東北大学災害科学国際研究所 准教授 ホレー・ベンメレン・セバスチャン氏	東日本大震災の犠牲者への対応から学んだこと
	10月6日	宮城大学事業構想学群 教授 郷古政春氏	農業・農村振興の現場知を未来に繋ぐ—農業・農村復興の現場では何が起きたか—
	12月1日	東北学院大学教養教育センター 助教 磯村和樹氏	災害前の記憶の伝承—被災地各地での「記憶の町」の活動から—
令和7年	2月2日	東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤翔輔氏	震災伝承の最新動向・最新研究

(3) 知りたいみやぎ復興の知恵 (旧 3.11 げんば探訪)

令和6年	5月5日	(一社) プロジェクトリアス 代表理事/気仙沼市議会議員 三浦友幸氏	防潮堤と市民活動
	7月7日	(一社) 防災ジオラマ推進ネットワーク 代表理事 上島洋氏	段ボール? 性格診断? あの手この手で下げたい防災のハードル
	9月1日	(公社) 日本建築家協会 (JIA) 災害対策会議 手島浩之氏	石巻市北上町での地域と住民主体の震災復興
	11月3日	(株) たび むすび/(株) ゆいネット 代表取締役 稲葉雅子氏	震災復興とツーリズム~旅行という伝承につなげる手段
令和7年	1月5日	みちのくトレイルクラブ 常務理事 相澤久美氏	歩く旅が支える地域の復興/みちのく潮風トレイル
	3月2日	(一社) りとりーと 代表理事 兼子佳恵氏	「生き抜く力」被災者だからできたことー被災者を被害者にしないコミュニティー

(4) ぼうさいキッズパーク

令和6年	11月24日	東北大学災害科学国際研究所 准教授 福島洋氏	ガラクタじっけんでわかる“地震のおこりかた”
	11月24日	東北大学災害科学国際研究所 准教授 榎田竜太氏	どうして地震でゆれる?“建物のふしぎ”

(参考2) みやぎ東日本大震災津波伝承館の概要

(1) 基本情報

- ①名 称 みやぎ東日本大震災津波伝承館
- ②所 在 地 宮城県石巻市南浜町2丁目1-56(石巻南浜津波復興祈念公園内)
- ③開館年月日 令和3年6月6日(日)
- ④開館時間 午前9時から午後5時まで(最終入館は午後4時30分)
- ⑤休 館 日 毎週月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/4)
※GW期間を除く
※ただし、毎月11日は曜日・祝日に関わらず開館する。
- ⑥入 館 料 無料

(2) 施設(建物情報)

- ①面 積 1,520㎡(うち、展示面積765㎡)
- ②コンセプト 伝承館の建物は屋内直径40mの正円形の建物で、屋根は林立する122本あるランダムな細い柱で支えられ、建物周辺に植えられた樹林(マツ)が成長した際に連続した空間となるようデザインされています。外壁は全方位を見渡せるよう透明なガラス張りとしており、屋内からの視線の先には、日和山、善海田稲荷、石巻市震災遺構門脇小学校、追悼の広場、日本製紙工場の複数の煙突の煙などをとらえることができます。
また、建物の一番高い北側の屋根の高さは6.9mで、この地を襲った津波が停滞したときの高さを体感できるようになっています。
- ③そ の 他 建物所有、管理は国で行っています。

(3) 運営体制

宮城県復興支援・伝承課職員(東部地方振興事務所職員が兼務)が常駐しているほか、県の委託した展示解説員が、希望する団体・個人に対し展示解説を行っています。